

自己実現への道

第88回 - 第6章 「創意と忍耐の前に『不運』はない」(その7)-

★ しっかりした人生哲学から生まれる「バランス感覚」

バランスのとれた人生のためには、何かに無条件に系統する前に、対立している様々な価値を注意深く比較することが大切である。時間、活力、思想、お金など、多様な欲望の中にあって、前向き思考の人間ならば、その中から人生の好機となるものを選別することができる。人は「善いこと」よりも「悪いこと」に引きずられやすく、中でも**最も危険なのは悪事を働くことではない。**

- ・ 小さな善に甘んじて、より高い善を怠る。
- ・ 優れたものを求めずに、平凡陳腐なものに甘んじる。
- ・ 「特上」レベルではなく、まあまあのレベルで暮らす。
- ・ 不可能への挑戦は避けて、安易な目標を立てる。

これら、**安逸への誘惑が最も危険なのである。**誰でも二者択一を迫られる場面で、無意識に選択を行っている。「良い選択ができない」と嘆く場合、その**原因は、価値観が確立していないから**迷いが生じ、安易な道を選んでしまうのである。多くの場合、彼らの価値体系の中に対立矛盾が内在している。理想と現実のギャップ、贅沢や安逸への誘惑と義務の遂行のせめぎ合いなど。

しかし、**価値観に矛盾がなければ、正しい意思決定をすることは難しくない。**そのためには、**目標に向かって情熱を燃やすこと、信念を持つことが重要であるが、それ以外に、しっかりと**した人生哲学を持つことと、**努力する習慣を作ることが大切である。**

★ 人生はサンゴ海を航行するが如くに

サンゴ海の航海は浅瀬が多く危険である。人生とは、成功と失敗、完遂と挫折、勝利と敗北の間を進む航海である。先人の技術を学び、浮き沈み、紆余曲折の中で巧みに舵を切る柔軟性を培い、想像力、推理力を研ぎ澄ませ、直感を信じて見えなくても確信の持てる航路を見出せるよう、無くなって体験を積み、超能力に磨きをかけるのだ。

我々を正しい水路に導いてくれる見えざる力を信じて、これに一切を委ねよう。

このためには**体験が重要**である。やって、やって、やりまくる。ひたすら信じて進み続けると・・・内なる神と会話でき、道がはっきりと見えてきて、人生がうまくいくようになるのである。逃げずに努力し続ければ、必ず「道」は見えてくる。それ例外に、あなたの生きる「道」はない。

〈MIKO〉

☞ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より